

山行報告書

作成 2012年5月25日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	医王山(920m) [加賀]	目的[方法]	白山を眺める静かな山旅
期間	2012年5月13日(日)	形態	日帰りハイキング(山麓泊)
参加人数	2人		

行動記録:

5/13(日) 快晴,微風,10 @白兀山; 晴れ,微風,16 @白兀山; 薄曇,微風,13 @奥医王山
起床(4:30)

西尾平 P(630) =0:03= しがらびP(633,650) -0:32- 分岐(722) -0:08- 白兀山(730,755) -0:06- 分岐(801) -0:34- 覗乗越分岐(835) -0:10- 分岐(845) -0:35- 大沼(920,940) -0:08- 分岐(948) -0:03- 三蛇ヶ滝(951,957) -0:04- 分岐(1001) -0:27- 鷲岩(1028,1040) -0:12- ナカオ谷分岐(1052) -0:03- 分岐(1055) -0:08- 覗乗越分岐(1103) -0:29- 分岐(1132) ?0:04- 白兀山(1136,1207) -0:23- 医王山(1230) ?0:05- 分岐(1235) ?0:09- 夕霧峠(1244,1255) ?0:14- 龍神池(1309) ?0:14- 奥医王山(1323,1347) -0:23- 夕霧峠(1410) ?0:18- 登山道分岐(1428) =0:14= しがらびP(1442,1456) =0:04= 西尾平 P(1500,1502) =0:23= 湯涌温泉 銭亀(1525,1630) =1:02[蕎麦屋探索]= 金沢西IC(1732) =0:23= 尼御前SA(1755,1852) =1:38= 養老SA(2030,2045) =0:53= 豊田東IC(2138) =0:07= K.Y宅(2145) =0:03= K.M宅(2148) =0:32= K.H宅(2220)

概念図:



アプローチメモ:

ETC 料金[休割]
金沢西 ~ 豊田東(275.4km) : ¥6,000 [¥3,000]
温泉
湯涌温泉 銭がめ(源泉かが流し) : ¥500 ,
076-235-1426 , 11:00-21:00

湯涌温泉総湯 白鷺の湯(公衆浴場) : ¥300 ,
076-235-1380 , 07:00-22:00 , 定休日 第3木曜日
蕎麦
蕎麦 宮川 : 076-243-2887 , [土日] 11:30 ~ 17:00
蕎麦処 大藪 : 076-263-8505 , [土日] 11:30 ~ 21:00

日誌：

西尾平」には駐車場(14台)と休憩舎、ポンプ式水洗トイレがある。「白山」の眺めがよ「静かで快適な前泊地である。5時過ぎには清掃の方が2名見えられて、トイレを水洗い綺麗にしておられた。

しからびPまで車で移動、ここも5台ほど駐車できる。登山口から直ぐに西尾平」から続く登山道に合流する。右に折れて「白兀山」に向かう登山道は良く踏まれており、下草の繁茂も無く明瞭である。尾根道なのに、雨水で掘れて塹壕になっているような箇所もある。

大沼」への分岐を過ぎたところに展望のよい広場がある。西側に開け、「白山」方面から金沢市街、日本海まで一望できる。ここから一息で「白兀山」山頂に着く。

広場の真ん中に地藏尊が祭られている。その後ろには展望台があり、中央に方位盤が設置されている。北アルプス方面は後立山連峰から穂高連峰まで見えているが、朝日の影でぼんやりとした黒いシルエットになっている。「白山」は本峰と北部登山道の山々が見えている。

分岐まで戻り右に曲がり大沼」へ向かう。尾根の北側なので、また残雪を留め登山道を覆っている箇所があるが、ルートを失うほど広大ではない。若々しい新緑、柔らかな木漏れ日、爽やかな風を身体いっぱい感じる至福の時間がゆたゆたと流れる。

ナカオ谷から中尾尾根を登るルートは一般的ではないようで、案内板には「難路」、「初心者不向き」と表示されている。随分降って漸く大沼を見下ろせるようになる。大沼の向かいにはこの後登る鷹岩とやせ尾根の絶壁がそそり立っている。

大沼には水洗トイレのある大きな休憩舎がある。広々とした平坦地で、ベンチも多量ありのんびりと時間を過ごせる。大沼と鷹岩を眺めながら、これからの登りに備えて腹ごしらえする。

三蛇ヶ滝に立ち寄りマイクスイオンを浴びる。雪解け水で水量豊富、どうどうと落ちている。

大沼から降りてきた道を少し戻って、分岐を左にとる。直ぐにまた分岐があり、真っ直ぐ行くと「金山峠」、右に行くと「鷹岩」に登る尾根道になる。直ぐに鎖が取り付けられた岩道「背中坂」になり「鷹岩」まで100mほど急登が続く。落石に注意しながら三点確保で慎重に登ろう。

「鷹岩」を右に見て登り切った所で小休止、数人しか座れない狭いピークだが、大沼を真下に覗き込めるビューポイントである。

絶壁の上のやせ尾根を通過すれば、あとは普通の登山道に戻る。大沼までまったりしていたので、計画から随分遅れた。ナカオ谷まで下って中尾尾根を登り返すのを止めて、往路に合流して白兀山まで戻ることにした。

山頂広場はお昼時で賑わっていた。

稜線沿いの登山道で夕霧峠に向かう。「夕霧山」、「医王山」の2つのピークは巻くようにコロートがついている。三角点のある「医王山」に立ち寄るが、予期したとおり展望のない山頂だった。夕霧峠にはヒュッテ(無人)があり、2Fが展望台になっている。朝はシルエットだった北アルプスが、はっきりと見える。

鳥居を潜って「奥医王山」に向かう。いきなり288段の階段登りとなる。登り切ると展望広場で金沢市街方面から南砺市方面まで展望できる。あとは尾根伝いに奥医王山に至る。途中の鞍部には「竜神池」があり、また残雪で覆われている。

奥医王山にも展望台が設置されている。この上に立たないと展望は得られない。少しだけ白山に近づいた気がする。平成6年に小さな祠が祭られたようですが、風雪により無残な姿になっていた。雪避けの屋根は後に建てられたのであろうか。

往路を夕霧峠まで戻り、ここからしからび駐車場までは林道を歩く。フキノトウ、ススキを少しだけお土産にいただく。

感想：

標高1000mにも到りませんが、白山と北アルプスの展望に優れ、自然が豊かな山です。新緑とお花のこの時期が紅葉の時期がお奨めです。但し、上級者向けのコースもありますのでルート選定にはお注意しましょう。